

521 系車両の「中間車両」の新造について

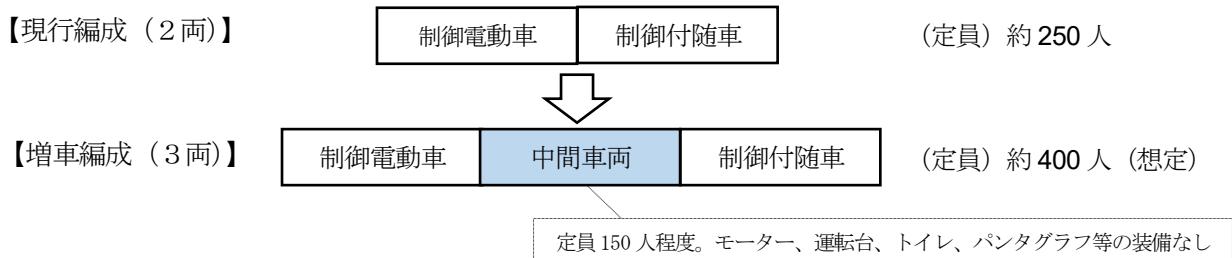
1編成あたり2両。現在22編成所有

老朽化が進む旧型413系車両1編成(3両)の運用終了時期を見据え、521系車両の一部を3両編成で運行するため「中間車両」を3両新造する計画を進めています。

○中間車両新造の目的等

- ① 輸送需要に応じた効率的な車両運用(現在2両又は4両で運行 → 輸送需要に応じ3両で運行)
- ② 輸送力の増強と地域交通ネットワーク機能の強化
(413系車両は走行距離を限定して運用。521系車両に置き換えることでより柔軟な運用が可能となり、輸送力の拡大につながる)
- ③ エネルギー消費量やCO₂排出量の削減(413系車両は消費電力が多い)
- ④ 2両ユニットの521系車両を新造する場合と比べ、小さな投資額で十分な効果
(中間車両は運転台やトイレなどの装備がないため、多くの定員を確保できる)

○521系車両3両編成のイメージ



○中間車両の整備スケジュール

2024年度 車体・台車の設計、モニター装置のソフト改修など

(経費：168百万円、財源：2022年度基金補助金(減収補填分)の未使用分を活用)

2025年度 車両の製造スケジュールの調整、導入時の運用計画の検討など

2026年度～ 車両の製造 (2026年度2両、2027年度1両製造の予定)

○中間車両の新造経費と財源

○概算経費(見込み) 約873百万円 (=1両あたり約291百万円×3両)

○財源(案)

- ・国庫補助 291百万円 (補助率1/3)
- ・基金補助 582百万円 (うち92百万円は2022、2023年度減収補填分の未使用分。
この未使用分の活用については利用促進協議会了解済み)